技術サービスのバナーをクリックすると
掲載ページに移動します

MY（マイ）エスロン® 技術サービス

本カタログに掲載している製品の配管検討に役立つツールを
公開しております。ぜひご活用ください。



MYエスロン 技術サービス で検索

SEKISUI 環境・ライフラインカンパニー

エスロンタイムズ
https://eslontimes.com
二次元コードで
アクセスはコチラ！

専用の管理ページでさらに便利に！
あなただけのエスロンタイムズ MYエスロン®

*印刷のため製品の色調は実物と異なる場合があります。
*記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2009年11月　初　　版
2023年12月　改訂23版-0刷

エスロンACドレンパイプ・継手
カタログ

積水化学工業株式会社
建築システム事業部

ツールコード
No. 05956
2023. 12. 0TH TX

SEKISUI

2023.12　改訂23版

ACドレン since1996 SEKISUI

空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管・樹脂継手

エスロン® ACドレンパイプ
エスロン® ACドレン継手
エスロン® 透明ACドレン継手

立て管から横引き管、空調機器接続まで
オールACドレンの安心を



施工手順を動画でご確認いただけます！

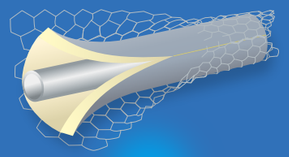
空調ドレンの最適管材 はACドレンパイプ・継手!

空調ドレン配管用のエスロンACドレンパイプ・継手は、結露防止層付で保温工事が必要ありません。
オフィス、ホテル、病院、店舗、学校など、様々な建物用途の空調ドレン配管に最適です。

従来の空調ドレン配管の 問題点 → すべてACドレンで解決します!

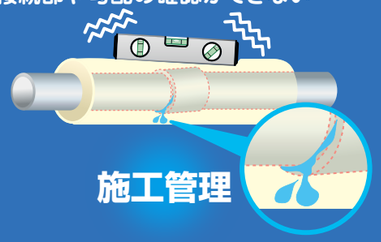
保温工事の手間

金属管やVP管は保温工事に手間と工期がかかる…



施工管理

金属管やVP管は保温後に接続部や勾配の確認ができない…



切断・目地処理の手間

耐火二層管は切断(粉塵)や目地処理に手間がかかり、定尺も短い



■適用範囲

項目	使用条件
用途	空調ドレン用配管専用
使用水圧	無圧※
使用温度	常温(5℃～35℃)
呼び径	20～65

※1m以下のドレンアップ部を除く

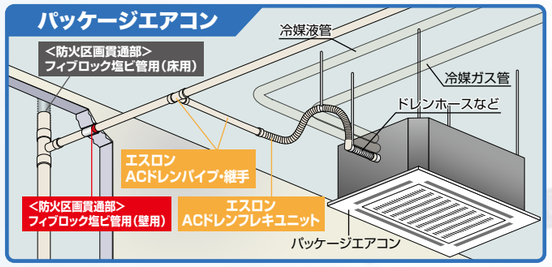
結露に関する情報(結露防止性能、注意事項、結露有無判定サービス)については、P.15、16をご確認ください。

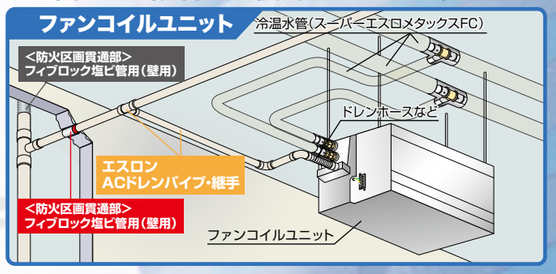
本文中のマークについて

⚠注意 左記マークの付いている事項は、それを守らないと大けが・火傷などの事故を引き起こすことがありますので、ご注意ください。

⚠ 左記マークの付いている事項は、製品性能を確保するために必ず守っていただきたい注意事項です。

パッケージエアコン・ファンコイルユニットを問わず、空調ドレン配管にご使用いただけます。



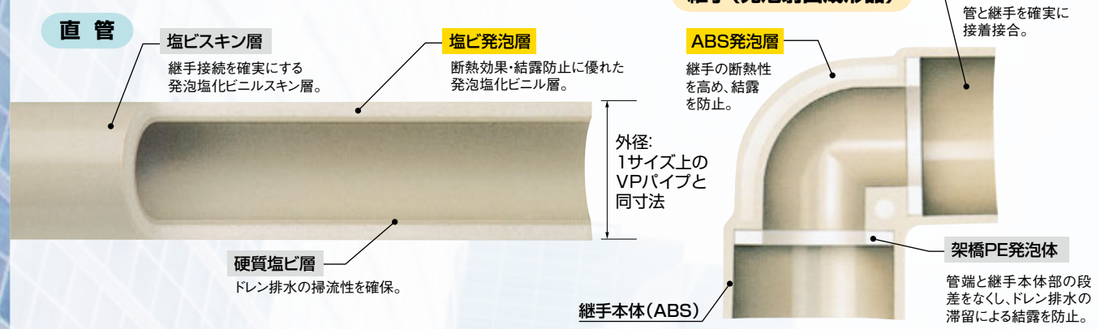


⚠ 防火区画貫通時はフィブロックを使用し適切な処置を行ってください。(P.10参照)

特長1 管・継手に保温機能あり | 保温材なしで結露を防止

管・継手ともに内部に発泡断熱層を有しており、保温材なしで配管全体の結露を防止できます。別途、保温工事が必要ありません。

ACドレンパイプ・継手の特長と構造



特長2 施工が簡単 | 施工管理が容易

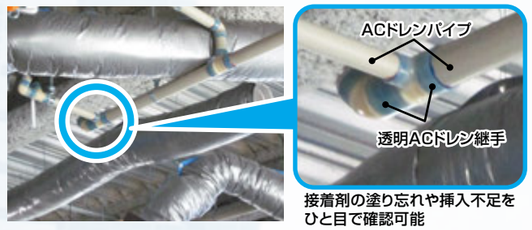
施工は、従来のDV接続と同様に可能で、切断は塩ビ用のこぎりの他、専用のACドレンカッターによる回し切りも可能です。施工管理は、保温材がないため配管の接続部や勾配の確認が容易になります。また、透明継手と色付き/蛍光接着剤を使用すると、接着忘れや挿入不足の確認が容易になります。

ACドレンカッター





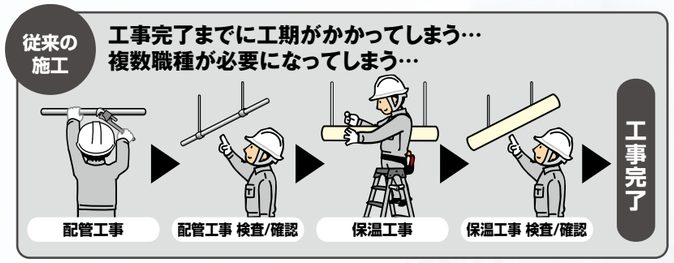
●切り粉なし ●発泡層潰れなし
●バリ/カエリなし ●斜め切れなし



接着剤の塗り忘れや挿入不足をひと目で確認可能

特長3 工期短縮に有効 | 複数職種の調整必要なし

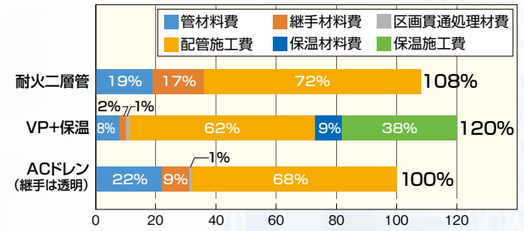
配管と同時に保温工事が完了するため、工期短縮に有効です。また、複数職種の調整も必要ありません。



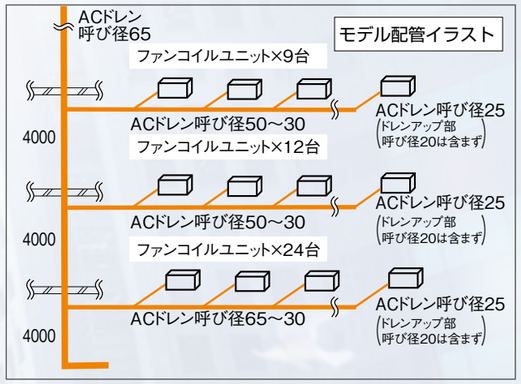


特長4 材工コストで経済的

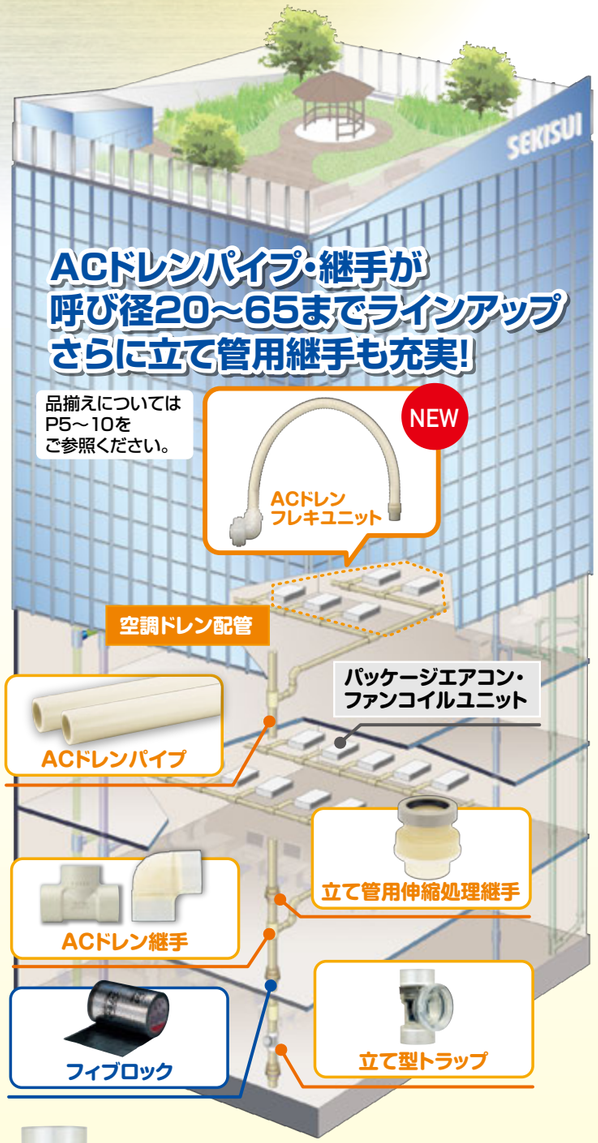
保温材料費・保温施工費が必要ないため、材工コストで経済的です。



●3フロアー分で試算
(立て管は呼び径65、横引き管は呼び径25～65、ファンコイルユニット機器台数は合計45台想定)
●材料費は実勢及び建設物価ベース
●労務単価は公共工事設計労務単価を参照
●工事費は公共建築工事積算基準を参考に設定



立て管から機器接続まで ACドレンで構築可能!



ACドレンパイプ・継手

詳しくは P5~7へ

特長



1 呼び径20~65まで品揃えしているため、立て管から機器接続まで構築可能

2 継手はアイボリーと透明の2色を用意

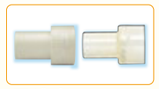


露出配管に見栄えが良く経済的です。

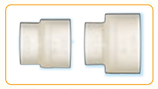


接着剤の塗り忘れと挿入不足の確認が可能です。

3 アダプターを豊富にラインアップしているため、異種管接続も安心



・アダプター
(塩ビ継手と変換可能)



・両受変換アダプター
(VPパイプと変換可能)



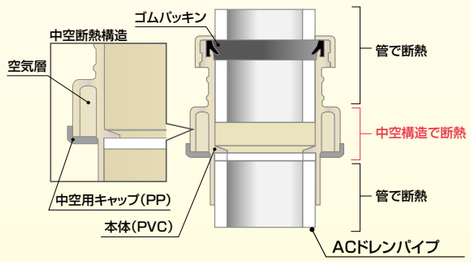
・MD継手
接続アダプター

立て管用伸縮処理継手

詳しくは P7へ

特長

中空断熱構造により保温の必要なし



⚠ 立て管専用の継手です。横引き管には使用することができません。

立て型トラップ

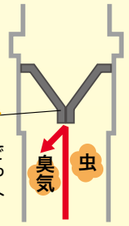
詳しくは P7へ

特長

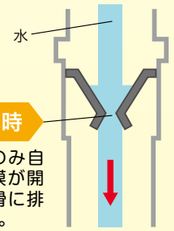
1 保温材が一体化しているため、追加保温の必要なし

2 自己閉鎖膜により、臭気や害虫の侵入を防止

通常時
自己閉鎖膜で密閉。臭気や害虫をシャットアウトします。



排水時
排水時のみ自己閉鎖膜が開いて円滑に排水します。



3 自己閉鎖膜の部分は取り外し可能で、点検、清掃、メンテナンスが容易



⚠ 立て管専用の継手です。横引き管には使用することができません。

ACドレンフレキユニット

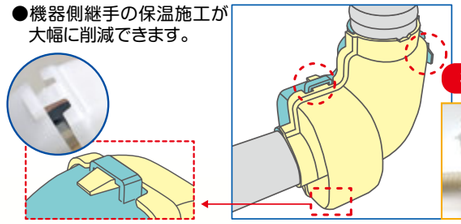
NEW

詳しくは P8へ

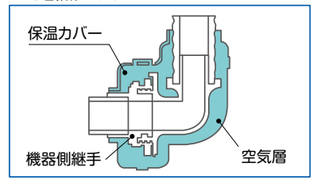
特長

1 保温カバーはワンタッチ施工で、煩わしいテープ巻きの必要なし

●機器側継手の保温施工が大幅に削減できます。



●保温カバーを装着することで空気層を断熱します。



※VP管を接続する場合はVP部分には別途保温が必要です。

2 機器側継手は検査・メンテナンス時に工具不要で脱着可能!

●ナットのツメを倒すことで脱着が可能です。



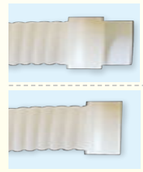




3 配管側継手は様々な配管形態に対応可能!

●配管の形態によって差口、受口タイプを選択することで現場接続箇所が減り、施工がスピーディ、保温が不要です。

●ホースの長さは700mmと1000mmの2種類をラインアップしています。



差口タイプ
(ACドレン管があらかじめ接続)



ACドレンの切断、接続作業が省略でき、継手に直結可能

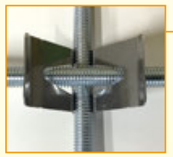
受口タイプ
(ACドレン呼び径25受口)

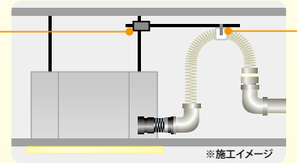


4 支持金具と配管支持部材の組み合わせで、ドレンアップ部の施工性が更に向上!

天井吊金具が使用出来ない場合、全ねじ直交金具、配管支持部材と全ねじボルト(市販品)を使用することで施工が可能になります。

全ねじ直交金具





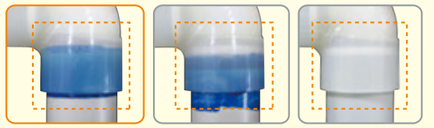
※施工イメージ

配管支持部材



5 透明継手で目視確認可能

着色接着剤との組み合わせで接着接続の目視確認が可能です。また機器側エルボ部で流水確認が可能です。



※上の写真は接着剤No.73Sブルーの使用例です。

エスロン接着剤

詳しくは P9へ

特長

1 積水化学のラインアップで安心

2 透明/色付きの他、ブラックライトで照らすと光る蛍光接着剤や、軟質塩ビシート表面への染み出しを解決するバイオレットも使用可能



No.73S UV
〈蛍光接着剤〉



No.73S
バイオレット
〈色付き接着剤〉

熱膨張耐火材 フィブロック

詳しくは P10へ

特長

1 積水化学のラインアップで安心

2 塩ビ管用〈壁用/床用〉の他、冷媒管・ケーブルとまとめて貫通可能な冷媒管用パテレスキットも使用可能



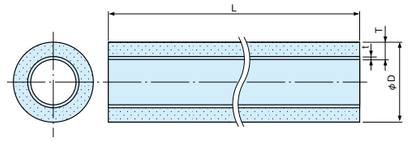
冷媒管用
パテレスキット



エスロンACドレンパイプ・継手のラインアップ

直　管





マンセルNo.　2.5Y7.5/1

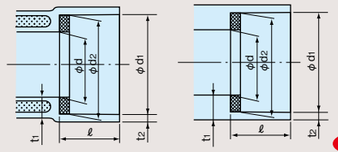
単位:mm

品　番	呼び径	外　径 φD	管　厚 T	硬質塩ビ層厚み t	近似内径（参考）	長　さ L	参考質量 (kg/m)	梱包数（本）
ACD20P	20	32.0	6.5	1.7	19.0	4,000	0.32	16
ACD25P	25	38.0	6.5	2.0	25.0		0.50	12
ACD30P	30	48.0	8.5	2.0	31.0		0.72	9
ACD40P	40	60.0	9.0	2.2	42.0		1.00	6
ACD50P	50	76.0	9.5	2.5	57.0		1.41	4
NEW ACD65P	65	89.0	10.0	2.6	69.0		1.77	4

継　手

受口共通寸法

●発泡射出成形品　●射出成形品



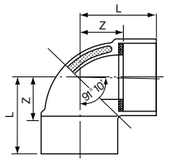
単位:mm

呼び径	内径 φd1	内径 φd2	内径 φd	受口長さ ℓ	肉厚 t1（最小）	受口厚み t2（最小）
20	32.25±0.25	31.85±0.25	19.0	23	8.5	2.7
25	38.25±0.25	37.85±0.25	25.0	23	8.5	2.7
30	48.30±0.30	47.80±0.30	31.0	27	8.7	2.7
40	60.35±0.30	59.75±0.30	42.0	30	9.1	3.1
50	76.40±0.30	75.70±0.30	57.0	40	9.4	3.1
NEW 65	89.45±0.30	88.65±0.30	69.0	44	10.0	3.6

〈ABS発泡射出成形品〉

■90° エルボ

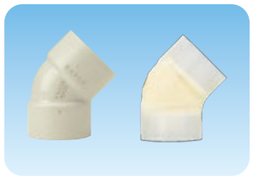


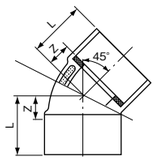


単位:mm

呼び径	有効長Z	全長L	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
20	23	42	80	ACL20N	ACL20S
25	26	45	160	ACL25N	ACL25S
30	31	54	100	ACL30N	ACL30S
40	37	63	50	ACL40N	ACL40S
50	46	82	20	ACL50N	ACL50S
NEW 65	52	92	16	ACL65N	ACL65S

■45° エルボ



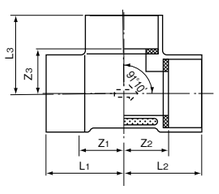


単位:mm

呼び径	有効長Z	全長L	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
20	14	33	80	AC4L20N	AC4L20S
25	16	35	160	AC4L25N	AC4L25S
30	18	41	100	AC4L30N	AC4L30S
40	22	48	60	AC4L40N	AC4L40S
50	26	62	30	AC4L50N	AC4L50S
NEW 65	29	69	20	AC4L65N	AC4L65S

■チーズ



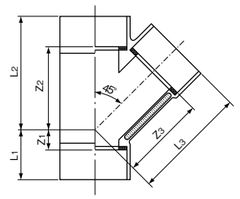


単位:mm

呼び径	有効長 Z1	有効長 Z2	有効長 Z3	全長 L1	全長 L2	全長 L3	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
20	23	23	23	42	42	42	40	ACT20N	ACT20S
25	26	26	26	45	45	45	100	ACT25N	ACT25S
25×20	23	23	26	42	42	45	40	ACT251N	ACT251S
30	31	31	31	54	54	54	60	ACT30N	ACT30S
30×20	23	23	31	46	46	50	24	ACT302N	ACT302S
30×25	26	26	31	49	49	50	60	ACT301N	ACT301S
40	38	38	38	64	64	64	30	ACT40N	ACT40S
40×20	23	23	38	49	49	57	20	ACT403N	ACT403S
40×25	26	26	37	52	52	56	40	ACT402N	ACT402S
40×30	31	31	37	57	57	60	40	ACT401N	ACT401S
50	46	47	46	82	83	82	20	ACT50N	ACT50S
50×20	23	24	46	59	60	65	20	ACT504N	ACT504S
50×25	26	27	46	62	63	64	20	ACT503N	ACT503S
50×30	31	32	46	67	68	69	20	ACT502N	ACT502S
50×40	38	39	46	74	75	72	20	ACT501N	ACT501S
NEW 65	52	53	52	92	93	92	10	ACT65N	ACT65S
NEW 65×25	28	29	53	68	69	72	18	ACT654N	ACT654S
NEW 65×30	33	34	53	73	74	76	16	ACT653N	ACT653S
NEW 65×40	40	41	53	80	81	79	14	ACT652N	ACT652S
NEW 65×50	46	47	53	86	87	89	12	ACT651N	ACT651S

■45° Y



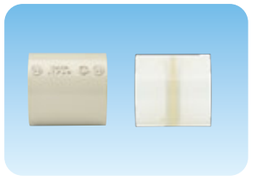


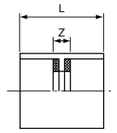
〈硬質塩ビ射出成形品〉

単位:mm

呼び径	有効長 Z1	有効長 Z2	有効長 Z3	全長 L1	全長 L2	全長 L3	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
30	16	62	66	39	85	89	30	ACY30N	ACY30S
40	24	76	82	50	102	108	25	ACY40N	ACY40S
50	24	96	102	60	132	138	14	ACY50N	ACY50S
50×40	12	84	92	48	120	118	15	ACY501N	ACY501S
NEW 65	30	110	119	70	150	159	8	ACY65N	ACY65S
NEW 65×50	18	102	110	58	142	146	8	ACY651N	ACY651S

■ソケット

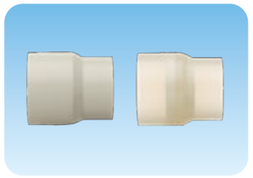


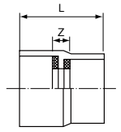


単位:mm

呼び径	有効長Z	全長L	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
20	11	49	120	ACS20N	ACS20S
25	11	49	240	ACS25N	ACS25S
30	11	57	160	ACS30N	ACS30S
40	11	63	80	ACS40N	ACS40S
50	11	83	40	ACS50N	ACS50S
NEW 65	12	92	10	ACS65N	ACS65S

■径違いソケット





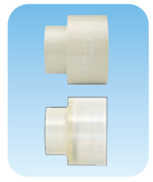
単位:mm

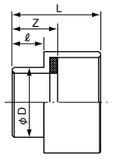
呼び径	有効長Z	全長L	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
25×20	13	51	80	ACS251N	ACS251S
30×25	12	54	180	ACS301N	ACS301S
40×30	13	62	100	ACS401N	ACS401S
50×40	13	75	60	ACS501N	ACS501S
NEW 65×50	13	89	10	ACS651N	ACS651S

■アダプター〈塩ビ管への媒介継手〉

呼び径 20、25　　呼び径 30、40、50、65







単位:mm

呼び径	有効長Z	差口 φD	差口 ℓ	全長L	差口側接続継手	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
20	41	26.0	34	60.0	TS20	100	ACDA20	ACA20S
25	46	32.0	39	65.0	TS25	80	ACDA25	ACA25S
30	24	38.0	17	47.5	DV30	80	ACDA30	ACA30S
40	29	48.0	21	55.0	DV40	50	ACDA40	ACA40S
50	32	60.0	24	64.5	DV50	30	ACDA50	ACA50S
NEW 65	45	76.0	37	85.0	DV65	10	ACDA65	ACA65S

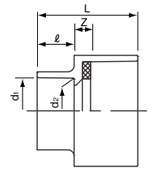
備考. 1.使用方法についてはP.11をご参照ください。
2.受口側には、同一呼び径のACドレンパイプを接続します。差口側の呼び径20、25はTS継手、呼び径30、40、50、65はDV継手（DV受口寸法用のため、TS継手には接続できません）を接続します。

■両受変換アダプター〈塩ビ管VPと直接変換可能継手〉

※塩ビ管変換に塩ビTS・DV継手が不要です。

NEW

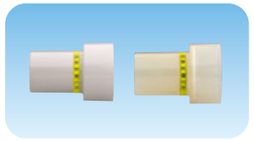


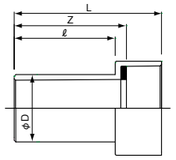


単位:mm

ACドレン呼び径	有効長Z	全長L	VP受口呼び径	VP受口 d1	VP受口 d2	VP受口 ℓ	梱包数（個）	品番 透　明
25	8	45	25	32.25	31.85	18	80	ACVP25
30	8	49	25	32.25	31.85	18	80	ACVP30

■MD継手接続アダプター





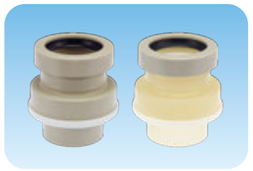
単位:mm

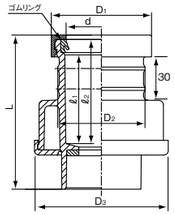
呼び径	有効長Z	差口 φD	差口 ℓ	全長L	差口側接続継手	梱包数（個）	品番 アイボリー色	品番 透　明
40	80	48	72	105	MD継手40	25	ACMD40	ACMD40S
50	84	60	76	119	MD継手50	12	ACMD50	ACMD50S

備考. 1.受口側には、同一呼び径のACドレンパイプを接続します。差口側にはMD継手を接続します。（差口側にTS継手やDV継手は接続しないでください。）
2.差口を切断して使用しないでください。
3.差口部には別途保温を実施してください。

エスロンACドレンパイプ・継手のライン アップ

■立て管用伸縮処理継手





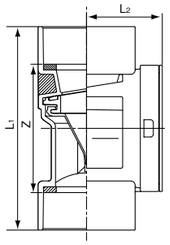
単位:mm

呼び径	D1	D2	D3	d	L	ℓ1	ℓ2	梱包数(個)	品番 アイボリー色	品番 透明
30	69	60	92	48.6	106	61	75	6	ACSS30N	ACSS30S
40	85	76	106	60.8	113	62	78	5	ACSS40N	ACSS40S
50	106	89	123	77.1	129	67	84	16	ACSS50N	ACSS50S
NEW 65	120	114	137	90	132	65	83	12	ACSS65N	ACSS65S

備考. 1.立て管専用の継手です。横引き管には使用することができません。
2.立てバンド使用時は、25mm幅の金具を選定してください。
3.その他、P.17の施工基準・施工上の注意を参照してください。

■立て型トラップ



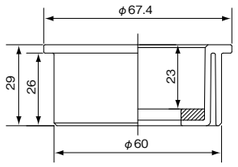


単位:mm

呼び径	L1	Z	L2	梱包数(個)	品番 透明
30	147	101	53	40	ACTT340
40	141	89	53		
50	162	90	53	40	ACTT50
NEW 65	195	115	53	20	ACTT65

備考. 1.呼び径30と40は兼用です。30Aパイプを接続する場合は、
変換アダプター(同梱)を本体受口に接着してください。
2.呼び径30の寸法は、本体に変換アダプターを接続したものです。
3.その他、P.17の施工基準・施工上の注意を参照してください。

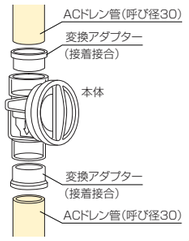

変換アダプター



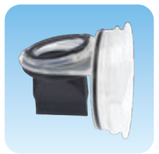
変換アダプターの使用方法

ACドレン管呼び径30を接続する場合、立て型トラップ30-40Aに同梱の変換アダプターを接続してください。

⚠立て型トラップは定期的な点検、清掃を必要とし、交換を要する場合もあります。交換する場合は、別売の点検口ユニットをご使用ください。



点検口ユニットのみ
(別売)



満水試験用ユニット
(別売)




上部

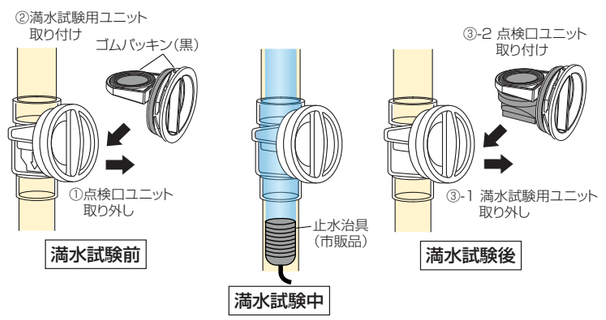
品名	梱包数(個)	品番 透明
点検口ユニット	10	ACTTF35
満水試験用ユニット	10	ACTTM35

備考. 1.立て型トラップには点検口ユニットが予めセットされています。
2.点検口ユニットは、立て型トラップに予めセットされているユニットを補修、交換する場合に使用します。
3.満水試験用ユニットを取り付けるだけでは満水試験を行うことはできません。別途止水治具が必要です。

満水試験用ユニットの使用方法

本製品は満水試験時に、立て型トラップに接続されている点検口ユニットと交換して使用します。
立て管内の止水機能はありませんので、満水試験を行うには別途止水治具(市販品)が必要です。

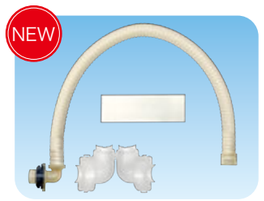
①点検口ユニットを左に回しロックを解除し引っ張りだしてください。
②満水試験用ユニットを取り付けてください。取り付けの際は、ゴムパッキン(黒)2種類がセットされていることを確認し、取手が垂直または水平になるまで押しながら右に回しロックさせてください。
③トラップより下階にて管内を止水し、満水試験を行った後、①で取り外した点検口ユニットを必ず再セットしてください。そのとき、ゴムパッキン(黒)2種類がセットされていることと、自己閉鎖膜などに異常がないことを確認してください。



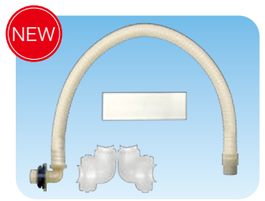
⚠立て型トラップは自己閉鎖膜があるため下流側のエア抜きができませんので、満水試験時は本製品をご使用ください。

エスロンACドレンフレキユニットのライン アップ

■ACドレンフレキユニット



配管側:受口



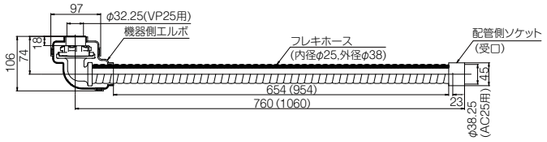
配管側:差口

単位:mm

呼び径	配管側	長さ	梱包数(本)	品番
25	受口	700	10	ACF257U
		1,000	10	ACF25HU
	差口	700	10	ACF257S
		1,000	10	ACF25HS

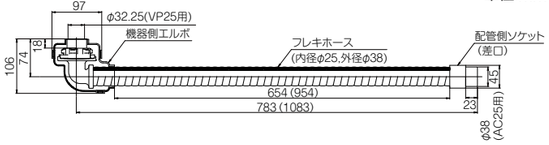
受口タイプ

単位:mm



差口タイプ

単位:mm



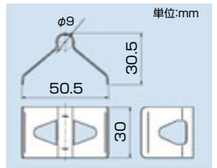
構成部品



支持金具のライン アップ

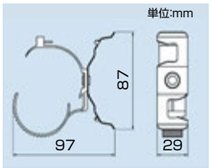
全ねじ直交金具





配管支持部材





タイプ	梱包数(個)	品番
全ねじ直交金具	100	ACFVF
配管支持部材	100	ACFHSB

⚠ ACドレンフレキユニットの使用上の注意事項

●本製品は業務用エアコンのドレンアップ配管専用です。その他用途には使用しないでください。
●本製品は、エスロンACドレン専用です。
●ACドレンフレキユニットの断熱フレキ管の最小曲げ半径は110mm以上としてください。
●継手接続部等に無理な力がかからないようにしてください。
●空調機器からACドレンフレキユニットを立ち上げる際は、空調機メーカーの取扱説明書を参照し、機械の能力以上に立ち上げないように注意してください。
●室内機に直接接着接続可能かについては必ず室内機メーカーにご確認ください。
直接接続しない場合は、室内機付属のフレキホースを必ず使用してから接続してください。
●空調ドレン水以外の薬液(界面活性剤、有機溶剤、酸、アルカリなど)や固形物は流さないでください。
●保温カバーは隙間があると必ず結露しますので、隙間がないことや、ツメが3カ所とも嵌っていることを確認してください。

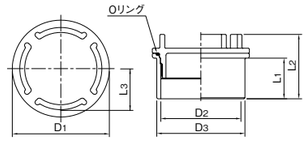
⚠ 支持金具の使用上の注意事項

●全ねじ直交金具及び配管支持部材はドレンアップ配管専用ですのでそれ以外の用途では使用しないでください。
●全ねじ直交金具及び配管支持部材は、W3/8ボルト専用です。それ以外のボルトには使用しないでください。
●金具部分の取り扱いにご注意ください。保護手袋を着用して指詰め切傷等に注意してください。
●全ねじ直交金具や配管支持部材を強く引張ったり体重を掛けて引張らないでください。
金具や支持部材が変形、破損します。

関連部材

■ねじ式掃除口〈硬質塩ビ射出成形品〉





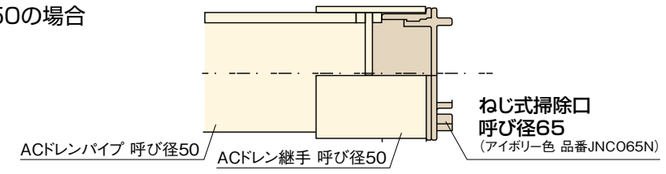
単位:mm

ACドレン呼び径	D1	D2	D3	L1	L2	L3	締付けトルク(N·m)	梱包数(個)	品番 アイボリー色
20	41	27	32	19	42.5	17.5	2	200	JNC025N
25	45	32	38	19	41.2	19.5	2	200	JNC030N
30	55	41	48	23	44.5	24.0	4	240	JNC040N
40	68	51	60	26	47.5	29.0	5	132	JNC050N
50	84	69	76	36	57.5	36.0	5	68	JNC065N
NEW 65	98	81	89	41	65.0	42.0	5	48	JNC075N

備考. 1.常時接水する場所では使用しないでください。結露する可能性があります。
2.製品にはACドレンのワンサイズアップの呼び径が記載されています。

ねじ式掃除口使用例: ACドレン呼び径50の場合

※使用するねじ式掃除口の呼び径は、ACドレン継手呼び径の1サイズアップになります。



エスロン接着剤

ACドレンパイプ接合の標準接着剤としてご使用ください。

No.73S ブルー
〈色付き接着剤〉
容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)



No.75S ブルーN
〈色付き低粘度タイプ〉
容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)



No.73S
容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)



No.75S
容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)



NEW
No.73S バイオレット
〈色付き接着剤〉
容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)



接着剤の基本性能は従来品と同等に

軟質塩ビシート表面への染み出しを解決！

No.73S UV
〈蛍光接着剤〉
容量：500g缶(筆付)





施工チェック時は光ってお知らせ!

ブラックライトで照らすと接着剤が光ります。暗い場所でも塗布の有無が一目で分かるので、塗り忘れのチェックに役立ちます。



⚠ No.73S UVの使用前には発色することをご確認ください。
⚠ 排水用接着剤です。給水·圧力配管用としては使用しないでください。
⚠ 床等にこぼした場合はすみやかに拭きとってください。

※透明ACドレン継手には必ず接着剤No.73Sブルー、No.75SブルーN、またはNo.73S UV、No.73S バイオレットをご使用ください。

ACドレンカッター

ACドレンパイプを廻し切ることで発泡層を傷つけずに切断できます。



標準型
(呼び径20~50用)



小型
(呼び径20~30用)

品名
ACドレンカッター標準型(呼び径20~50用)
ACドレンカッター小型(呼び径20~30用)
ACドレンカッター替刃(標準型·小型共通)

※呼び径50まで対応可能です。





発泡層潰れなし!
バリ·カエリなし!
呼び径 20~50 対応!
切り粉なし!
斜め切れなし!

※ ACドレンカッターは東亜高級継手バルブ製造㈱の取扱い商品です。
販売窓口：東亜高級継手バルブ製造㈱(TEL：072-897-6336)

関連製品

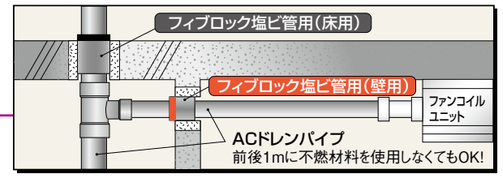
熱膨張耐火材 フィブロック® 防火区画貫通に

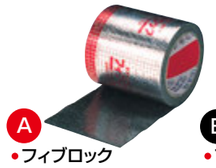
防火区画貫通箇所では、フィブロックによる防火区画貫通処理が必要です。

火災と同時に瞬時に膨張し、高断熱層を形成。巻くだけで炎を防ぐ耐火テープです。

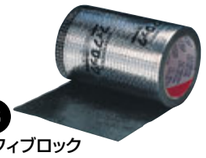
・低コストで施工が非常に容易です。
・管自体の外径が小さくなるため省スペース化が可能です。

【施工例】



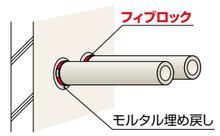


A
•フィブロック塩ビ管用(壁用)

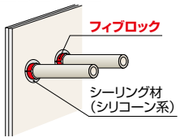


B
•フィブロック塩ビ管用(床用)

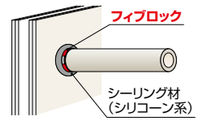
●ALC·コンクリート壁の場合



●片面強化せっこうボード重張壁の場合



●中空壁の場合



※冷媒管·ケーブルもまとめて貫通できるフィブロック「冷媒管用パテレスキット」の品揃えもございます。詳細は下記の営業所にお問い合わせください。

ACドレンパイプにて防火区画貫通する場合は、フィブロックを使用し、適切な処置を行ってください。

〈フィブロック塩ビ管用のラインアップ〉※フィブロックの詳細についてはフィブロックカタログおよび各認定書·評定書をご参照ください。

品名	用途	品番	厚さ	幅	巻長さ	入数
A フィブロック塩ビ管用(壁用)	壁用	TBCZ002	2.25mm	110mm	1.5m	6巻／ケース
B フィブロック塩ビ管用(床用)	床用	TBCZ001	2.25mm	160mm	1.5m	6巻／ケース

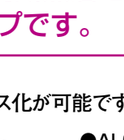
A〈フィブロック塩ビ管用(壁用)の認定·評定一覧〉

貫通する壁の構造	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法ボイド径	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画	令8区画
コンクリート(厚100mm以上)	50A	100(φ107mm)以下	PS060WL-1073	KK 19-111号	RK 19-023号
	65A				
ALC·コンクリート(厚75mm以上)	65A	φ160mm以下	PS060WL-1073		
中空壁(厚100mm以上)		φ110mm以下	PS060WL-1071		
片壁(厚42mm以上)		φ110mm以下	PS060WL-1072-1		

B〈フィブロック塩ビ管用(床用)の認定·評定一覧〉

貫通する床の構造	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法ボイド径	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画	令8区画
コンクリート(厚150mm以上)	50A	100(φ107mm)以下	PS060FL-0015	KK 19-114号	RK 19-037号
ALC·コンクリート(厚100mm以上)	65A	φ160mm以下	PS060FL-1070		

熱膨張耐火材 フィブロック® 冷媒管用パテレスキット



パテレス、鋼製スリーブレス(壁貫通部)により施工時間を大幅に短縮!!

フィブロックパテレスキットを使用することで同じスリーブにACドレンパイプと空調用冷媒管をまとめて通す事が可能です。
(ALC、コンクリート壁、床及び、中空壁や片壁の区画貫通部の国土交通大臣の認定を取得)
※呼び径50まで対応

■ キット内容

■ 中空壁施工イメージ

■ RC床施工イメージ

※フィブロック冷媒管用パテレスキットの詳細、施工方法につきましては別途「冷媒管用フィブロック」のカタログ及び認定書をご確認ください。

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®についてのお問合わせは

製造元
積水化学工業株式会社
耐火材料事業部 https://www.sekisui.co.jp/fp/

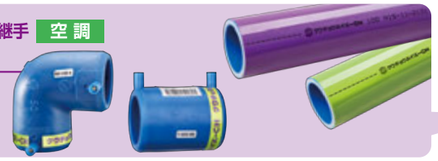
販売元
積水マテリアルソリューションズ株式会社
耐火資材営業所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6
03(6744)5806 03(6744)5807

冷温水管からドレン配管まで

空調配管のオールプラスチック化を実現します。

空調配管用高性能ポリエチレンパイプ・継手 空調
新技術情報提供システム（NETIS）登録品

・クウチョウハイパーCH
パイプ・継手（呼び径:50～200）



給水・給湯・空調用金属強化ポリエチレンパイプ・継手

・スーパーエスロメタックス 給水 給湯 空調

<保温材付>
・スーパーエスロメタックスFC 給水 給湯 空調

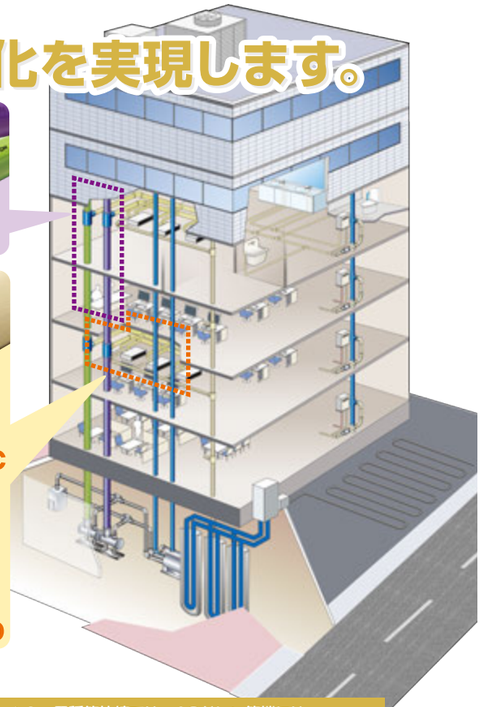
<保温材付>
・スーパーエスロメタックスFCプレハブシステム 空調

エスロン スーパーエスロメタックスFC

<スーパーエスロメタックス用圧縮継手>
・メタキュット 給水 給湯 空調

<スーパーエスロメタックス用圧縮継手>
・メタキュットRED 空調





エスロンACドレンパイプ・継手と異種管との接続方法

異種管接続では、ACドレン管端には必ずアダプター継手を使用してください。

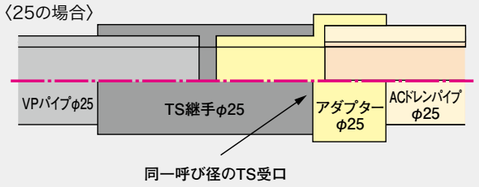
<アダプター使用の場合>

①呼び径20、25のVPパイプ（TS継手）とACドレンパイプを接続する場合

アダプター継手と、TS継手を組み合わせて接続します。

⚠ VPパイプとTS継手部は、別途保温が必要です。
※ドレンホースとつなぐ際にも使用できます。

〈25の場合〉

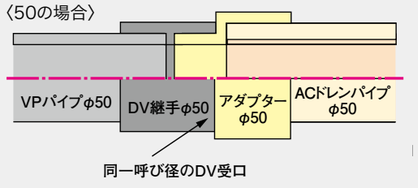


②呼び径30、40、50、65のVPパイプ（DV継手）とACドレンパイプを接続する場合

アダプター継手と、DV継手を組み合わせて接続します。

⚠ VPパイプとDV継手部は、別途保温が必要です。
⚠ 差口はDV受口寸法であるため、TS継手には接続できません。

〈50の場合〉

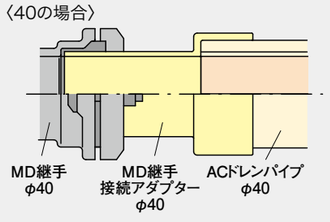


③呼び径40、50のMD継手とACドレンパイプを接続する場合

MD継手接続アダプターを使用して接続します。

⚠ 差口を切断して使用しないでください。
⚠ 差口側にTS継手やDV継手は接続しないでください。
⚠ MD継手接続アダプター差口部とMD継手は、別途保温が必要です。

〈40の場合〉



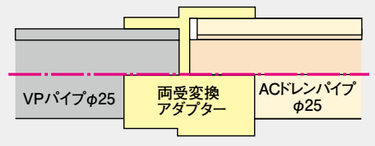
<両受変換アダプター使用の場合>

①VPパイプ呼び径25とACドレンパイプ呼び径25又は呼び径30を接続する場合

両受変換アダプターを使用して接続します。

⚠ VPパイプ接続部は別途保温が必要です。

〈VPパイプ呼び径25－ACドレンパイプ呼び径25に変換する場合〉



エスロンACドレンパイプ・継手の施工手順

動画でも施工手順をご確認いただけます！



■施工手順

1 切 断





切断箇所は全周にわたってマーキング等を行い、ACドレンカッターまたは塩ビ用のこぎりを用いて管軸に直角に切断してください。



⚠ 割れやヒビが生じるので塩ビカッター等は、使用しないでください。
⚠ 斜め切れの場合は管端からドレン水が浸入し、管外面の微小な傷より漏水する恐れがあります。
⚠ 管に傷つき、へこみ、偏平がある場合はその部分を切断・除去してください。
⚠ ACドレンカッター（P.9掲載）をご使用の場合は、ACドレンカッター付属の取扱説明書を必ずご参照ください。（呼び径50まで対応可能）

2 面取り



管端を内外面とも糸面取りしてください。

⚠ 面がとれていないと、接続時受口部の接着剤を削りとってしまい、抜けの原因となるので、必ず糸面取りをしてください。

3 清掃処理



継手受口内部や管差口に付着した砂、土、ほこり等の汚れや水分等は乾いたウエスできれいに拭き取ってください。

4 挿入長さ記入



管差口に、下表に示す挿入長さを記入してください。

参考）挿入長さ（標線記入長さ） 単位:mm

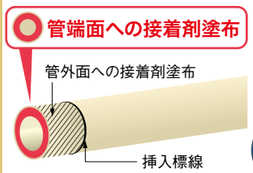
呼び径	20	25	30	40	50	65
挿入長さ	19	19	23	26	36	40

5 接着剤の塗布



継手の内面と、管端面及び管の外面に、エスロン接着剤（No.73Sブルー、No.75SブルーN、No.73S、No.75S、No.73S UV、No.73Sバイオレット）を均一に塗布してください。

⚠ 透明ACドレン継手には必ず接着剤No.73Sブルー、No.75SブルーN、またはNo.73S UV、No.73Sバイオレットをご使用ください。
⚠ 継手内面、管外面だけでなく、管端にも接着剤を塗布してください。接着剤を塗布しない場合は管端からドレン水が浸入し、管外面の微小な傷より漏水する恐れがあります。





6 挿 入



<アイボリー>
できるだけすばやく、管を奥まで挿入してください。

<透明>
できるだけすばやく、管を奥まで挿入してください。

7 保持（接着剤の拭き取り・換気）

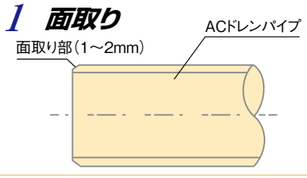


管が継手より抜け出なくなるまで管と継手を保持します。（30秒以上保持）
また、はみ出した接着剤はウエスで拭き取ってください。
また、施工後は配管内を十分に換気してください。

- ACドレンパイプの外径は呼び径に対し、1口径大きい塩ビ管の外径と同寸法になっていますので、支持金具等は塩ビ管用のものが使用できます。
- ACドレンパイプの支持は、同一呼び径の塩ビ管（VP）と同一の間隔で設置してください。

■立て管用伸縮処理継手の施工手順

1 面取り



管端を1～2mm程度面取りしてください。

2 シリコーンシーラントの塗布

管端面にシリコーンシーラントを均一に塗布してください。

⚠ 塗布しない場合は管端からドレン水が浸入し、管外面の微小な傷より漏水する恐れがあります。

3 挿入

右表の呼び径別標準差込み長さまで挿入してください。

呼び径	挿入長さ
30	54mm
40	57mm
50	64mm
65	63mm

■立て型トラップの施工手順

1 点検口ユニットの取り外し



施工前に点検口ユニットを取り外してください。

⚠ 取り外さず施工し、接着剤が点検口ユニットに付着すると作動しない恐れがあります。

2 接着接合

ACドレンパイプを接着接合してください。

3 点検口ユニットの取り付け



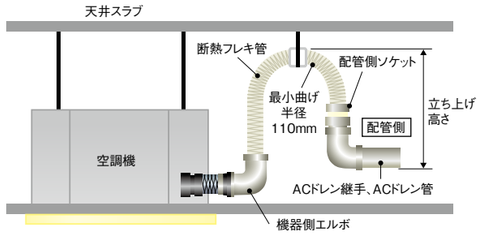
取り外した点検口ユニットを取り付けてください。取り付けの際は、取手が垂直又は水平になるまで押しながら右に回しロックさせてください。

ACドレンフレキユニットの施工手順

■施工手順

1 空調機とドレン横引き管の配管

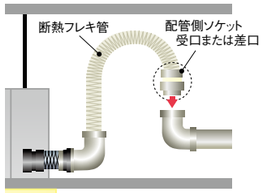
ACドレンフレキユニットの立ち上げ高さは空調機メーカー指定の最大立ち上げ高さ以下にしてください。また、断熱フレキ管の最小曲げ半径（R=110mm）以上になるようにフレキユニット長さ700mmまたは1,000mmを選定してＡＣドレン横引き配管を配管してください。



2 配管側ソケットの接続

配管側ソケット（受口または差口）とドレン横引き配管（ACドレンパイプ呼び径２５またはACドレン継手）にエスロン接着剤※1を薄く均一に塗布後、奥まで挿入し30秒以上保持してください。（ACドレン接続方法はP.12を確認してください）

※1.No.73Sブルー、No.75SブルーN、No.73S、No.75S、No.73S UV、No.73Sバイオレット





⚠ 接続時は断熱フレキ管を引張ったり機器側エルボを支点に曲げたり、ひねらないように配管してください。

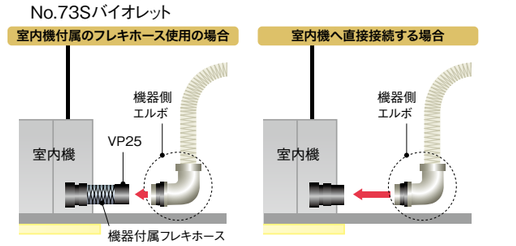
⚠ ACドレンパイプ管端面にも接着剤を塗布してください。



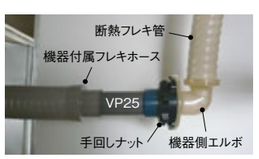
3 機器側エルボ継手の接続

空調機器付属のフレキホース先端に接続されたVP25または室内機接続口とフレキユニット機器側エルボにエスロン接着剤※1を薄く均一に塗布後、奥まで挿入し30秒以上保持してください。

※1.No.73Sブルー、No.75SブルーN、No.73S、No.75S、No.73S UV、No.73Sバイオレット







3 機器側エルボ継手の接続

⚠ 室内機に直接接着接続可能かについては必ず室内機メーカーにご確認ください。直接接続しない場合は、室内機付属のフレキホースを必ず使用してから接続してください。

⚠ 室内機付属フレキホースが受口の場合はVP25A管が接続可能かを確認の上、室内機の施工要領に従い接着接続してください。また必要であれば吊り金具で支持してください。なおVP部分は別途保温が必要です。

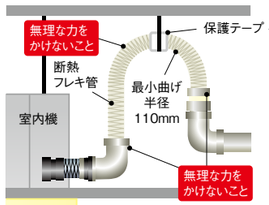
⚠ 保温カバーは機器側継手に最初は装着された状態ですので、接続時は取り外して接続後再度装着してください。

⚠ 接着接続時はDV継手の標準施工方法を遵守してください。また、手回しナット部や断熱ホースに接着剤が付着しないように注意ください。

⚠ 機器側エルボ受口部の接着剤塗布量が多いと継手内面に流れ込み、着脱不良やOリング部に付着して漏水する恐れがあります。接着剤は薄く均一に塗布してください。

4 断熱フレキ管の支持固定

ドレンアップ部の最頂部に同梱の保護テープを巻き付け、その上から確実に支持固定してください。（専用支持金具またはSGP管用32A支持金具）




断熱フレキ管

⚠ 断熱フレキ管を支持金具で固定する時は必ず同梱の保温テープを巻き付けてから行ってください。

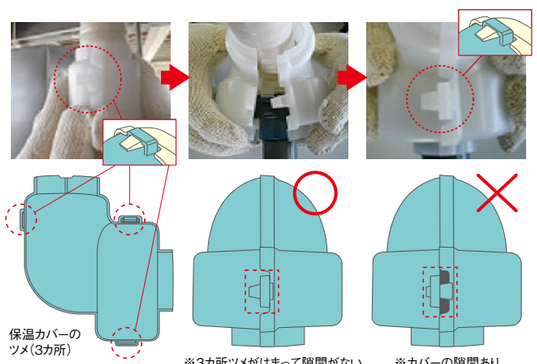
⚠ ドレンアップ最頂部以降に逆勾配が生じないように配管してください。

⚠ 断熱フレキ管に無理な負荷を掛けると結露、破損、漏水の原因となります。

⚠ 最小曲げ半径は110mm以下とならないように注意してください。

5 機器側保温カバーの取り付け

同梱の保温カバーを室内機側エルボ継手にかぶせ、まずツメ1カ所を合わせてください。その後残り2カ所のツメを合わせて両側の側面からツメが入るまで押し付けてください。パチッと音がします。取り付け後隙間がないことを確認してください。



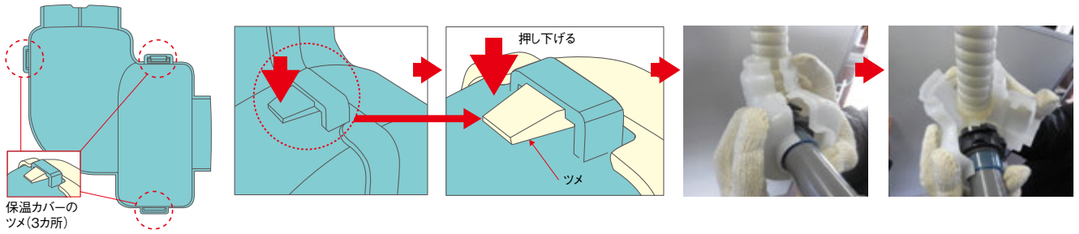
⚠ 隙間があると結露しますので隙間が無いことや、ツメが3カ所ともはまっていることをを必ず確認してください。

⚠ 変形した保温カバーは隙間が生じて結露する可能性がありますの使用しないでください。

■機器側エルボ継手の脱着方法

保温カバーの取り外し

保温カバーを取り外す場合は、3カ所のツメを１カ所ずつ押し下げてゆっくりと取り外してください。

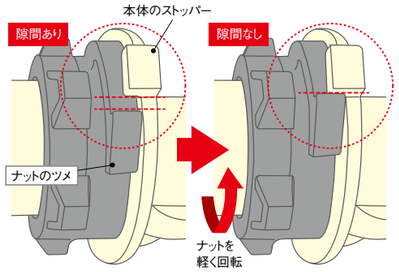


⚠ ツメを押さずに無理に外すと、ツメが折れたり破損の原因になりますので必ず押して外してください。

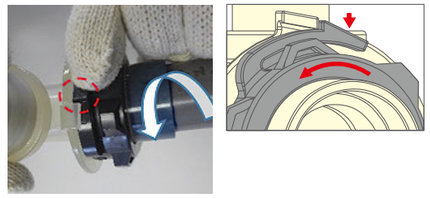
機器側継手の取り外し

1）手回しナットの取り外し

①手回しナットを反時計回りに軽く回して、ナットのツメとストッパーを合わせてください。



②上下のツメ2カ所を指でストッパーを超えるまで押し下げてナットを反時計回りに回転させてください。


上下ナットのツメを押して反時計回りに回転

③ナットを外し、アダプターを抜いてください。



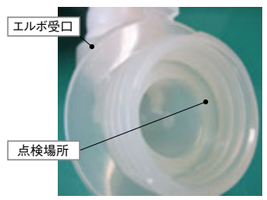
⚠ 必ず保護手袋を着用して取り外してください。また工具等を使用しないでください。

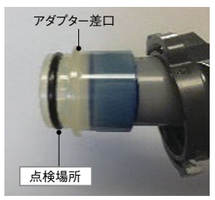
⚠ ナットのツメを押し下げず回転したり強く拡げたりすると破損する恐れがあります。

機器側継手の組立と取り付け

1）差口と受口の点検

アダプターの差口とエルボ受口を点検し、ゴミや異物の付着がある場合は漏水の原因となりますので除去してください。





2）アダプターの挿入

手回しナットが付いていることを確認し、アダプターをエルボ受口にまっすぐ奥まで挿入してください。



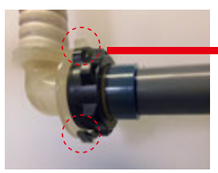
⚠ 斜め挿入はOリングの脱リングやキズ付き、手回しナット接続異常の原因となります。

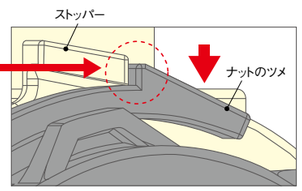
3）手回しナットの接続と確認

①手回しナットのツメが「パチッ」という音がするまで手回しナットを手で時計方向に回してください。



②2か所のツメがストッパーを乗り越えていることを確認してください。





③手回しナットを軽く逆に回し、ゆるまないことを確認してください。

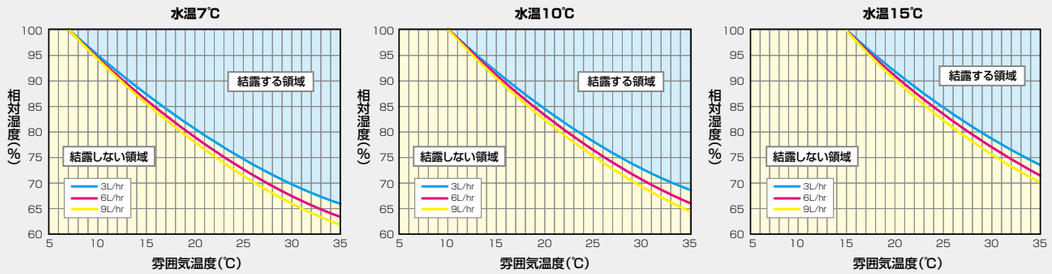
④確認後、機器側保温カバーを取り付けてください。

⚠ 回転が固い場合は一旦回転を中止し、差口と受口を点検してください。

⚠ ツメがストッパーに掛かっていないと使用中に緩み戻り、抜けて漏水が発生します。

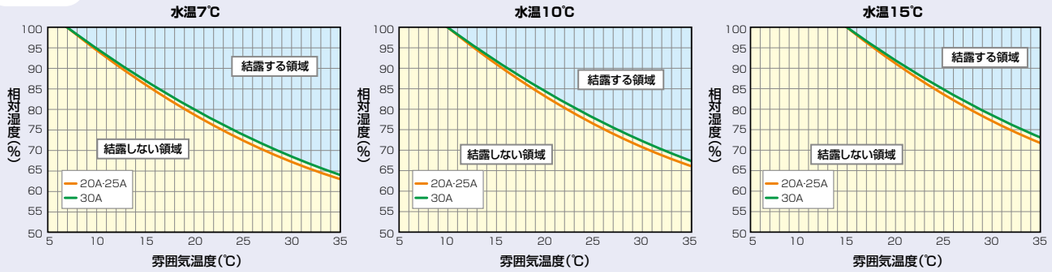
エスロンACドレンパイプ・継手の結露防止性能

■呼び径 20・25 の結露防止性能（配管勾配 1/50の場合）

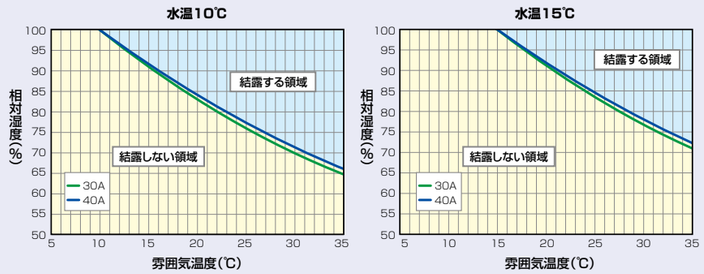


■各流量における配管の結露防止性能（配管勾配 1/50の場合）

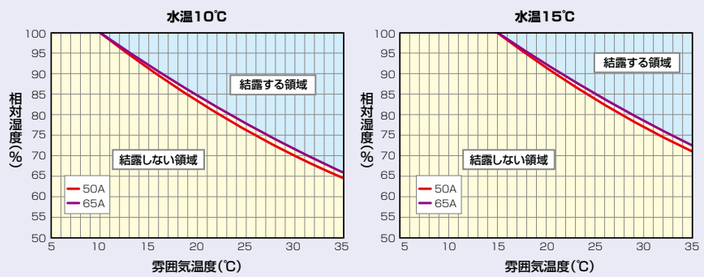
6L/hr



12L/hr

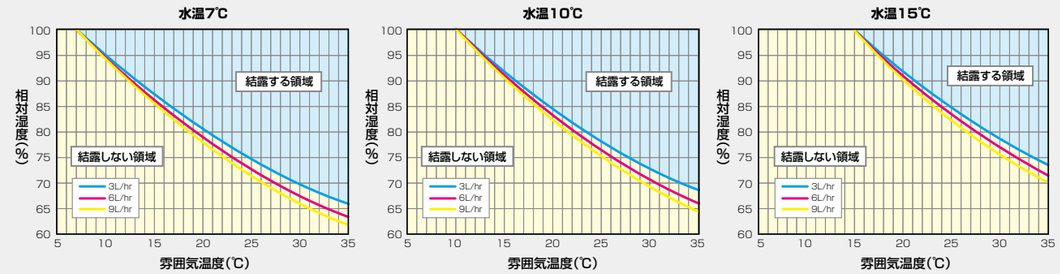


24L/hr



⚠横引き管使用時のACドレンパイプ・継手の性能です。

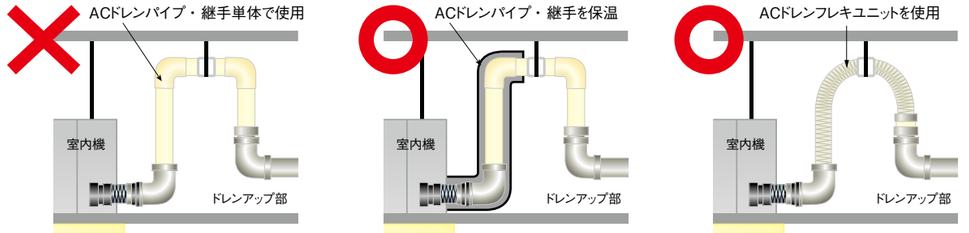
エスロンACドレンフレキユニットの結露防止性能



⚠満水かつ通水状態での性能です。

⚠ 結露に関する注意事項

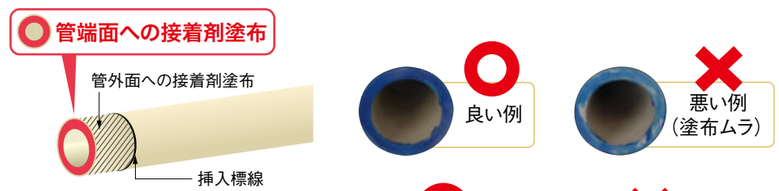
⚠ ドレンアップ部は別途保温するか、またはACドレンフレキユニットを使用してください。
その他管内が満水となる部分では、別途保温してください。
使用条件によっては不要な場合もありますが状況をご確認の上、ご検討ください。



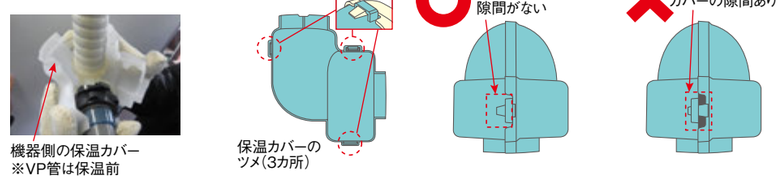
⚠ 下記の使用環境条件では、ACドレンパイプ・継手が結露する恐れがありますので使用条件や環境条件等をご確認ください。

- ●外気が流入する環境では、配管周辺の環境も外気に影響を受けやすくなり、結露する温湿度条件となる恐れがあります。
- ●屋内でも高温多湿が予想される箇所（屋根下、外壁近傍等）では、配管周辺の環境も影響を受けやすくなり結露する温湿度条件となる恐れがあります。
- ●流量が多く流れるドレン排水（エアハンドリングユニットのドレン水等）では結露する恐れがあります。

⚠ 継手内面、管外面だけでなく、管端面にも接着剤を塗布してください。
接着剤を塗布しない場合は管端からドレン水が浸入し、結露する恐れがあります。



⚠ ACドレンフレキユニットの機器側保温カバーは隙間なく取付けてください。
隙間がある場合は結露する恐れがあります。



⚠ ACドレンフレキユニットと空調機器付属のフレキホース先端に接続されたVP管を接続する場合、VP部分は別途保温してください。

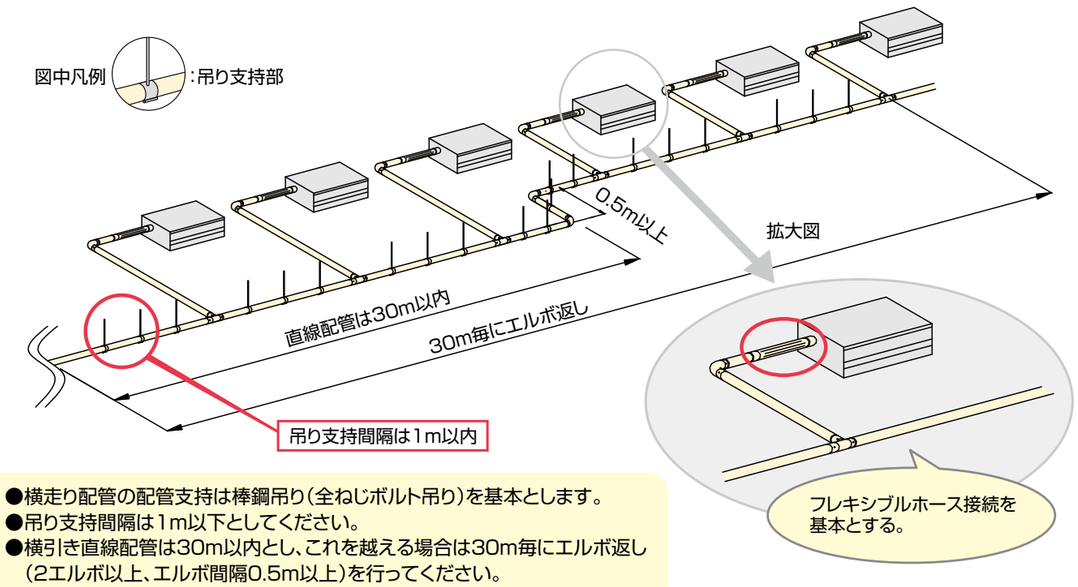
ACドレンシステム 結露有無判定サービス

各現場の使用環境下(呼び径,勾配,水温,流量,温湿度)での結露懸念の有無を判定することが可能です。
まずは最寄りの営業所にお問合せください。

エスロンタイムズより お問合せも可能です。
https://www.eslontimes.com/system/inquiry/

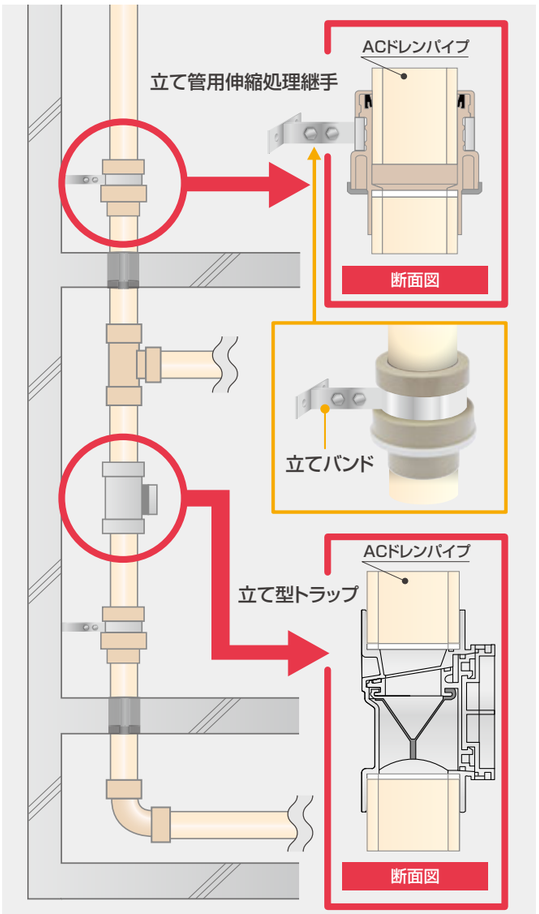


横引き管の施工基準



●横走り配管の配管支持は棒鋼吊り(全ねじボルト吊り)を基本とします。
●吊り支持間隔は1m以下としてください。
●横引き直線配管は30m以内とし、これを越える場合は30m毎にエルボ返し(2エルボ以上、エルボ間隔0.5m以上)を行ってください。

立て管の施工基準



立て管用伸縮処理継手・立て型トラップ 共通注意事項

●本製品は立て管専用の継手です。横引き管には使用しないでください。
●本体の矢印方向がドレン水の流れる方向ですので、矢印の向きを下向きに取り付けてください。
●接続の際は、管端の内外面の面取り(バリ取り)を行ってください。
●管やパッキンに異物などが付着している場合は除去してください。
●管を継手に挿入する場合は、斜め挿入、叩き込み等、無理な挿入はしないでください。
●施工後は必ず通水を行い、水が流れる事を確認してください。

立て管用伸縮処理継手

施工基準

●各階1箇所伸縮処理継手をスラブ上に設置してください。
●管が貫通部に固定されておらず合流部のない場合は、10m毎に1箇所、伸縮処理継手を設置してください。
●伸縮処理継手または伸縮処理継手の直下を支持してください。
●立てバンド使用時は、25mm幅の金具を選定してください。

施工上の注意

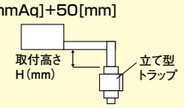
●ゴム輪部分には滑剤塗布は不要です。
●ACドレンパイプは所定の差し込み長さまで挿入してください。
●立て管用伸縮処理継手の上流側に挿入するパイプの端面にはシリコーンシーラントを塗布してください。

呼び径	挿入長さ
30	54mm
40	57mm
50	64mm
65	63mm

立て型トラップ

施工基準

●空調機と本製品の取付け高さ(H)は50mm以上としてください。但し、接続する空調機の機内静圧(負圧)に応じて取付高さ(H)が必要です。
H[mm]=機内静圧(負圧)[Pa]÷9.8[Pa/mmAq]+50[mm]
●本製品は定期的な点検、清掃を必要とし交換を要する場合もあります。周囲にメンテナンス用の空間を十分に設けてください。



施工上の注意

●本製品とACドレンパイプはエスロン接着剤で接合してください。接着剤の塗り過ぎによる垂れにご注意ください。自己閉鎖膜に接着剤が付着すると作動しない恐れがありますので点検口ユニットを取り外して接着してください。
●変換アダプター(30A)をご使用の際は、本体にエスロン接着剤で接着してください。

⚠使用上の注意事項

1.設計上の注意

⚠空調機のドレン配管専用の管材です。ドレンアップ部(1m以下)以外での圧力管用途へは絶対に使用しないでください。
⚠ドレンアップ部等の管内が満水となる部分では、ACドレンパイプ・継手単体では結露が発生する可能性があるため原則、別途保温を行ってください。
⚠屋内専用の管材です。屋外には使用しないでください。
⚠防火区画貫通箇所では、フィブロックによる防火区画貫通処理が必要です。
⚠横走り配管の配管支持は棒鋼吊り(全ねじボルト吊り)を基本とします。
⚠横引き直線配管は30m以内とし、これを超える場合は30m毎にエルボ返し(2エルボ以上:エルボ間隔0.5m以上)を行ってください。
⚠立て管は各階1箇所、立て型用伸縮処理継手を使用して伸縮処理を行ってください。
⚠下記の使用環境条件では、ACドレンパイプ、継手が結露する恐れがありますので、使用条件や環境条件等をご確認ください。
- 外気が流入する環境では、配管周辺の環境も外気に影響を受けやすくなり結露する温湿度条件となる恐れがあります。
- 屋内でも高温多湿が予想される箇所(屋根下、外壁近傍等)では、配管周辺の環境も影響を受けやすくなり結露する温湿度条件となる恐れがあります。
- 流量が多く流れるドレン排水(エアハンドリングユニットのドレン水等)では、結露する恐れがあります。

2.保管上の注意

⚠ACドレンパイプの支持は、同一呼び径の塩ビ管(VP)と同一の間隔で設置してください。
⚠管・継手は必ず屋内に保管してください。やむを得ず屋外で保管する時には、直射日光を避けるため、熱気のこもらない方法でシート掛け等を行ってください。
⚠保管場所では火を使用しないでください。火の粉や熱によって管や継手が劣化するおそれがあります。
⚠保管場所に溶剤・ペンキなどを置かないでください。有機溶剤などが付着すると劣化する恐れがあります。

3.運搬上の注意

⚠ACドレンパイプは発泡層があり軟らかいため梱包仕様は段ボールによる全面梱包としています。塩ビ(VP)管よりも運搬時の荷扱いには注意が必要であり、引きずり、投げ出し等は絶対に行わないでください。

4.ACドレンパイプ・継手の施工上の注意

⚠接着剤はエスロン接着剤No.73Sブルー、No.75Sブルー N、No.73S、No.75S、またはNo.73S UV、No.73Sバイオレットをご使用ください。
⚠透明ACドレン継手には必ず接着剤No.73Sブルー、No.75Sブルー N、またはNo.73S UV、No.73Sバイオレットをご使用ください。
エスロンACドレンパイプ・継手カタログの施工手順(P.12)を必ず守って施工してください。
⚠ACドレンパイプと塩ビ管用DV継手(TS継手)の接続は管内段差による滞留や結露が発生する場合がありますので、下記の事項をお守りください。
- ●ACドレンの配管システムには必ずACドレンパイプとACドレン継手を組み合わせてご使用ください。
- ●ACドレンパイプと塩ビ管を接続する場合は、アダプター継手(P.6参照)を使用して接続してください。

5.立て管用伸縮処理継手の施工上の注意

⚠本体の矢印方向がドレン水の流れる方向ですので、矢印を下側に取り付けてください。
⚠管端の内外面の面取り(バリ取り)を行ってください。
⚠滑剤塗布は不要です。
⚠管やパッキンに異物などあれば除去してください。
⚠ACドレンパイプは所定の量を挿入してください。

呼び径	挿入長さ	呼び径	挿入長さ
30A	54mm	50A	64mm
40A	57mm	65A	63mm

⚠斜め挿入、叩き込み等、無理な挿入はしないでください。

6.立て型トラップの施工上の注意

⚠本体の矢印方向がドレン水の流れる方向ですので、矢印を下側に取り付けてください。
⚠本製品とACドレンパイプはエスロン接着剤で接合してください。
⚠接着剤の塗り過ぎによる垂れにご注意ください。自己閉鎖膜に接着剤が付着すると作動しない恐れがありますので点検口ユニットを取り外して接着してください。
⚠施工後は必ず自己閉鎖膜の作動確認を行い、水が流れる事を確認してください。

7.その他の注意点

⚠管に傷付き、へこみ、偏平がある場合はその部分を切断・除去してください。
⚠クレオソート、アスファルト、防腐剤、防水剤、ケトン類、ひまし油やグリコールエーテル系の有機溶剤に管・継手が触れると、膨潤し破壊するおそれがありますので、管や継手に塗布したり、触れないようにしてください。
⚠溶剤系やエタノール系、塩素系、グリコールエーテル系、ひまし油を含む薬品を流さないでください。管路が破損し、漏水に至る可能性があります。特に空調機本体内部を薬液で洗浄する際には十分ご注意ください。
⚠管の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
⚠電気溶接の火花やトーチランプ、ガスバーナーなどの火を近づけないでください。
⚠ガス給湯器等ガス機器と周囲の配管との離隔距離については、ガス機器の設置基準及び実務指針(一般財団法人 日本ガス機器検査協会)に定められた基準を遵守ください。またガス給湯器の機種により緩和されることがありますので具体的な離隔距離についてはガス事業者またはガス機器メーカーにご確認ください。
⚠ガスコンロなどの直火の近くには配管しないでください。
⚠注意 屋内で、接着剤の1時間当りの使用量が、許容使用量を越える場合には、「有機溶剤中毒予防規則」が適用され、「有機溶剤取り扱い作業主任」の資格が必要になります。詳細は所轄の労働安全基準監督署にご確認ください。
⚠施工時には、接着剤などの有機溶剤を使用しますので、火気に十分注意してください。
⚠接着剤使用時は、換気を十分に行ってください。接着剤が皮膚に付着したときは、速やかに落としてください。もし気分が悪くなったり、身体に異常を感じた際には、速やかに医師の診断を受けてください。
⚠配管が建物の外周基礎や壁、床等を貫通する際に使用されるシーリング材には、ACドレン管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤(フタル酸エステル、DOP等)や有機溶剤(キシレン、トルエン等)を含む物(ポリウレタン系シーリング材等)があります。これらの成分を含むシーリング材は塩ビ管や継手に悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。(推奨品:積水フーラー社製シリコーン系シーリング材、変成シリコーン系シーリング材)
⚠可塑剤入りの被覆電線(コード・被覆支持金物及びビニルテープ)は、管・継手を浸すこともありますので直接、管・継手に触れないように施工してください。
⚠本紙記載事項以外にご使用の際は、弊社最寄りの営業所までお問い合わせください。
⚠満水試験を行う場合は、3m水頭(30kPa)で実施して下記の事項に注意してください。
- ●管端部の接着剤塗布ムラや継手と管に隙間がある場合は、管端から水が浸入する恐れがありますのでご注意ください。
- ●満水試験を実施した場合は必ず接合部の目視と触診を実施してください。

●エスロンACドレンパイプ・継手の施工にあたっては、注意事項を守って安全・確実に施工してください。

※上記注意事項を守らずにご使用された場合の破損、事故に関しては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。